

No. 8 令和4年度「保幼小中一貫教育合同研修会」

令和4年5月11日（水）

令和4年度第1回「保幼小中一貫教育合同研修会」が午後2時より、東能勢小体育館で保幼小中の教職員を対象に開催いたしました。

「未来を拓く教育」をめざしてというテーマのもと、事務局より「小中一貫カリキュラムの作成について」説明した後、平成2年度より西地区の学校運営協議会助言者をお願いしています、京都市教育委員会学校指導課参与初田幸隆先生を講師にお招きし、「**資質・能力を**」育む**具体的取り組みを考える**という演題で**一東山開晴館における取り組みを参考にして**—という具体的な内容も取り入れ90分間お話をさせていただきました。*初田先生のプロフィール（NO.6）参照

峯保幼小中一貫教育推進室長から

豊能町では、平成28年度から保幼小中一貫教育を推進してきましたが、令和8年4月、東・西それぞれに「義務教育学校」の開校をめざし「連携教育」から「一貫教育」へと新たなステージに歩みを進めています。

東地区においては、4月から併設型・小中一貫教育校「東能勢小中学校」を開校し5、6年生が中学校校舎での生活を始めています。新しい取り組みに不安があったと思いますが、子ども達が少しでも安心して学校生活を送ることができるよう、先生方、保護者、地域の方で協議を重ね前へ進めてまいります。

校種を越えて、子ども達の課題について考え、課題解決に向けてみんなで取り組んでいくことが子ども達のより豊かな成長につながるものと思います。



今年度の計画は①～③の3つです

- ① 「小中一貫カリキュラムの作成」
- ② 「とよの未来科」の試行実施
- ③ 「保育所・幼稚園からの英語活動」の検討



初田先生ありがとうございました。先生方、本日の目的の一つに「これか進める小中一貫教育に対するイメージを創る」ということがありましたが、初田先生から**「学校的设计図を小中で一緒につくる」**というお話が分かり易く心に残りました。また、子ども達に力をつけていくためには授業スタンダードの取り組みをベースとした「授業改善」－1時間1時間の授業を大切にしてい－ことも必要ですね。先生からいただきました、参考になる沢山のお話をこれからの取り組みの中で活かしていきたいと思ひます。

